

令和 2 年度  
外部評価報告書

令和 3 年 3 月  
八街市行財政調査会

## 1 外部評価の目的

八街市が実施する行政評価において、行政内部による事務事業評価に外部の視点を加え、評価における客観性や透明性を確保し、事務事業の改善を推進することを目的に外部評価を実施しました。

## 2 外部評価員の構成

八街市行財政調査会の職務に基づく外部評価であり、八街市行財政調査会委員は以下のとおりです。

役 職	氏 名	備 考
会 長	関 谷 昇	学識経験者 千葉大学大学院社会科学研究院教授
副会長	京 増 良 男	学識経験者 元八街市監査委員
委 員	治 部 登美子	市民代表 市民団体共同代表
委 員	玉 川 寛 治	公募委員
委 員	嶋 田 文 博	学識経験者 元高等学校教諭
委 員	今 井 誠 治	学識経験者 元八街市職員

## 3 外部評価の流れ

### (1) 評価対象事務事業の選定

今年度の外部評価では、平成25年度来評価を実施してきた事業等の中から、現状で課題があると考えられるもの(22項目)を候補とし、調査会において6項目を選定しました。

## (2) 担当課ヒアリング及び評価作業

### ①事業概要等の説明

担当課から事業概要の説明を受け、事業の内容、課題・問題点等を把握しました。

### ②質疑応答

事業概要の説明や資料から読み取れない部分は、「質問書」によるやりとりや、質疑応答により疑問点等を解消しました。

### ③評価

ヒアリングの結果を踏まえ、各事業の今後の方向性等について委員間で議論し、評価を行いました。

## 4 会議の開催日程

令和2年度八街市行財政調査会の開催日及び主な内容は、以下のとおりです。

回数	開催日	主な内容
第1回	令和2年 7月 8日(水)	・外部評価の進め方とスケジュールについて ・外部評価対象事務事業の選定方法について
第2回	令和2年 8月19日(水)	・外部評価対象事務事業の選定
第3回	令和2年10月 7日(水)	・担当課ヒアリング及び評価作業 (番号1～3)
第4回	令和2年11月 5日(木)	・担当課ヒアリング及び評価作業 (番号4～6)
第5回	令和3年 3月 5日(金)	・外部評価報告書の提出

## 5 外部評価の結果

事業の方向性を、「事業継続」、「事業廃止・休止」、「事業完了」の中から判定しました。

また、「事業継続」と判定した事業については、さらに「拡充」、「現状維持」、「見直し・改善」、「縮小」の中から判定を行いました。

この結果、以下のとおり、1つの事業等を「事業継続－現状維持」、5つの事業等を「事業継続－見直し・改善」と評価しました。

なお、個々の事業評価の過程における委員の主な意見、事業の方向性に関するコメントは、次ページ以降に掲載した「令和2年度外部評価結果」のとおりです。

### 令和2年度外部評価結果（概要）

番号	事業等名	担当課	評価結果	主な意見等
1	ごみの有料化	クリーン推進課	事業継続 現状維持	4ページ
2	商工会議所補助金	商工観光課	事業継続 見直し・改善	5ページ
3	シルバー人材センター補助金	商工観光課	事業継続 見直し・改善	6ページ
4	消防団の統廃合	防災課	事業継続 見直し・改善	7ページ
5	子育て関連施設の適正配置	子育て支援課 教育総務課	事業継続 見直し・改善	8ページ
6	社会福祉協議会補助金	社会福祉課	事業継続 見直し・改善	9ページ

令和2年度外部評価結果

番 号	1
事業等名	ごみの有料化
担当課	クリーン推進課
主 な 意 見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ袋の有料化については、市民への周知を充分にしていけば、受益者負担の適正化ということで、市民の理解を得られるのではないかと。</li> <li>・優先順位としては、まずは、持ち込みの有料化から開始することについては理解する。</li> <li>・持ち込みの有料化を検討するに当たってはごみ置場の無い人に対する配慮も必要と思われる。</li> <li>・ごみ袋の値段が上がれば、ごみの排出について生活者として気をつけるようになるため、減量化に繋がり、また分別も徹底されると思われる。</li> </ul>
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業継続 ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し・改善 <input type="checkbox"/> 縮小 )
	<input type="checkbox"/> 事業廃止・休止
	<input type="checkbox"/> 事業完了
事業の方向性に関するコメント	<p>ごみの減量化については、どの自治体でも大きな課題であるものの、なかなか市民の意識が浸透していかないというところがあるため、様々な方法や手段によって取り組む必要があり、意識の浸透に向けた動きについても、これまで以上に拡げていく必要がある。その中で有料化についてもしっかり位置づけをして進めていただきたい。</p> <p>共同処理施設に向けた可能性は、他市町村の連携の下で、市民の合意形成がどこまで進むのかによるため、ごみの有料化も含めてトータルに進めていただきたい。</p>

令和2年度外部評価結果

番 号	2
事業等名	商工会議所補助金
担当課	商工観光課
主 な 意 見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金の形態が運営費補助になっており、運営費補助であれば、成果や評価が見えてこない補助金を出している妥当性が評価できない。</li> <li>・将来的には補助金がなくてもやっていけるように、何を目指していけば商工会議所は発展して、ひいては商工業が発展し、まちづくりに繋げていくかをよく見定めないといけない。人口減少に伴って事業者も減っていくので、このままではどんどん衰退してってしまう。</li> <li>・「補助金の出し方を通じて団体と協力関係を結んでいく」、「団体とともに事業をやっていく」という姿勢を、市が見せるべき。</li> <li>・商工会議所も市も、常に先進事例を確認し、それらを取り入れていくことが必要である。</li> <li>・将来的な発展が見込める事業に補助金を支出するように変えていった方が良い。</li> </ul>
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業継続 ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善 <input type="checkbox"/> 縮小 ) <hr/> <input type="checkbox"/> 事業廃止・休止 <hr/> <input type="checkbox"/> 事業完了
事業の方向性に関するコメント	<p>運営費補助は要するに人件費補助であり、現状のような人件費補助を続けていても生産性は上がらない。商工会議所としてやりたいこと、市の役に立ちたいというものに対して事業費補助をするようなかたちでなければ補助金の成果は出ないし、団体も自立しない。体制、仕組みをしっかりと再編していくということが求められ、根本的な見直しが必要である。</p> <p>商工会議所については、商売をされている方を支援していくことは勿論、まちづくりの視点で力を発揮し、自主事業として収益事業を創っていくことが重要であり、基本的な方向となる。団体には自立していただく方向で、しっかりとその役割を果たしていただけるように働きかけていくことが原則である。</p>

令和2年度外部評価結果

番 号	3
事業等名	シルバー人材センター補助金
担当課	商工観光課
主 な 意 見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助の枠組みありきで「センターは当面このまま」ということを前提にして、事業を継続していくという考えは見直す必要がある。</li> <li>・例えば、シルバー人材センター事業自体を民間に委託して、そこからマッチングを図っていけるような体制を構築するなど、思い切った運営体制の見直しも検討できるのではないか。</li> <li>・補助金というかたちだけではなく、今まで以上に市等の発注業務をシルバー人材センターでどんどん受け入れていくというような発想も必要。</li> <li>・シルバー人材センター事業は、「仕事」だけではなくて「生きがいや健康づくり」が目的であれば、高齢者福祉部門で担当することも考えられる。</li> </ul>
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業継続 ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善 <input type="checkbox"/> 縮小 )
	<input type="checkbox"/> 事業廃止・休止
	<input type="checkbox"/> 事業完了
事業の方向性に関するコメント	<p>シルバー人材センター自体の位置づけ、成果づけを改めて見直し、役割をどのように果たしていくべきなのか再検討する必要がある。</p> <p>市からの「補助金」というかたちにとらわれず、市の発注業務をセンターで受け入れられるよう、各部署への周知に加えて、さらなる手立てを講ずることを期待したい。</p> <p>また、センターとしては仕事を見出すために新たな事業を発掘していくというような試みも必要になると考えられ、その役割を達成するためにどのような人材を集めていくのかということが検討課題となる。これに伴い、人材を集めることについても相当な働きかけをしていく必要がある。</p>

令和2年度外部評価結果

番 号	4
事業等名	消防団の統廃合
担当課	防災課
主 な 意 見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度に消防団の定数を改定されたが、まだ、実数との開きがあることから、更なる見直しをされたい。</li> <li>・今後さらに高齢化が進むと、今の状態では成り立たなくなることが想定されるため、長期的な見通しを考慮し、統廃合や負担のバランスを考えていく必要がある。</li> <li>・現段階で、市として「できること・できないこと」、あるいは「市として考えること・地域や地区で考えること」を整理し、明確にしておく必要がある。</li> <li>・地域の消防について、「何をしているのかわからない」という地域住民が多い中で、もっと情報を共有し、地域住民と一緒に考えていくことが必要である。</li> <li>・統廃合や消防のあり方について、消防関係者以外の外部有識者の意見を聞くことも重要である。また、統廃合の検討にあたっては、すでに学区単位で組織されている類似組織や関連組織等の状況も参考にされたい。</li> <li>・消防団の活動に対する理解について、市のホームページや消防庁から送られてくるポスターの掲示、チラシの配布だけでは周知不足と思われる。</li> </ul>
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業継続 ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善 <input type="checkbox"/> 縮小 )
	<input type="checkbox"/> 事業廃止・休止
	<input type="checkbox"/> 事業完了
事業の方向性に関するコメント	<p>消防団にはどういう役割が求められるのか、どういう連携が必要となってくるのかということも含めて、区（地域）、消防署、消防団及び市が、それぞれと議論を重ねていく必要がある。その上で、できるだけ合理化を図っていくことを期待したい。</p> <p>コミュニティとしての取り組みの中で、課題を位置づけていく、あるいは課題を巡った話し合いを重ねていくことは是非進めていていただきたいし、そのことが統廃合に現実味を持たせていくように考えられる。</p>

令和2年度外部評価結果

番 号	5
事業等名	子育て関連施設の適正配置
担当課	子育て支援課 ・ 教育総務課
主 な 意 見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共施設全体に対する配置あるいは幼稚園そのものの位置づけもありながら、例えば地域住民との合意形成のプロセスや、あるいは幼保併せた全体の機能バランスをどう考えていくのかなど、現段階で計画がないというのは、行財政の観点からするとかなり問題があると思われるので、長期的な展望の中での位置づけが必要である。</li> <li>・ 組織のスリム化が問われていることには違いないと思うが、逆に保育士の確保・支援など、環境整備を進めていかないと、そもそも子どもの数も増えていかないというジレンマもあると思われるので、随時対応を検討する必要がある。</li> <li>・ 保育ニーズは今の状況では全然足りていない一方、施設の維持管理という点からすると、今もギリギリのところを進めているかとは思いますが、さらなる合理化を図っていくことは必須である。</li> <li>・ 幼稚園については、これだけ園児が減っている状況で、削減の方向に持って行かざるを得ないと考えられる。</li> <li>・ 極端な話かもしれないが、仮に「入ってきたお子さん全員を保育園で預かります」というような視点で進めていけば、「八街市なら子育てができる」と思っただけなのではないか。</li> </ul>
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業継続 ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善 <input type="checkbox"/> 縮小 ) <input type="checkbox"/> 事業廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了
事業の方向性に関するコメント	<p>子育て支援の根本的なコンセプトを八街市がこれからどうするのかということは相当重要なことで、「どこでもやっているようなこと」をやっている程度では、少なくとも住民には支援をしているとは思ってはもらえない。</p> <p>市として、どのように個性を出していくのか分析・検討をしていく必要がある。</p> <p>市民の生活スタイルが変容している中で、求められるものも変わってきていると考えられることから、研究し、精査した上での長期的な方向性の中で、適正配置についてもしっかり考えていくということを強く求めたい。</p>

令和2年度外部評価結果

番 号	6
事 業 等 名	社会福祉協議会補助金
担 当 課	社会福祉課
主 な 意 見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金が有効に使われているのかどうか確かめられない現状は、運用のあり方としてどうか。</li> <li>・運営補助・支援ということのあり方について、今後のスリム化ということが財政的に問われていく中ではあるが、単に補助金を削ればいいのかという問題ではない。</li> <li>・市と社会福祉協議会がもっと建設的にいろいろな関係性を持って福祉事業を展開していく必要がある。</li> <li>・難しい課題だとは思いますが、社会福祉協議会の自主財源について、どのように自助努力していくのかが問われている。財源の確保のあり方として、他団体の実績から、協議会自体が受益者負担による自主事業を実施し、収益を上げていくことが可能ではないか。</li> <li>・協議会では令和3年度からの財政推計と、それに基づく計画を策定しているということであるため、明確な推計を出して、補助金を支出しなくても運営していけるような法人として努力をしていただきたい。</li> <li>・社会福祉協議会への補助金の大半が人件費であることをどう考え、今後の事業のあり方、市との関係を含めた基本的な方針を定めることが必要である。</li> </ul>
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業継続 ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善 <input type="checkbox"/> 縮小 ) <hr/> <input type="checkbox"/> 事業廃止・休止 <hr/> <input type="checkbox"/> 事業完了
事業の方向性に関するコメント	<p>自主財源確保のため、「社会福祉協議会に自主事業をしっかりとさせていくこと」をベースとしながら、市との関係をしっかりと見直していくことが必要である。</p> <p>併せて、現在の補助金制度は事業評価ができる仕組みになっていないことから、支出した補助金が有効に使われているのかを確認できるようにする必要があるということと事業についてどのような成果を目指すのかをしっかりと考え、改善しないと状況は変わらないと思われる。</p> <p>補助金を少し削ればいいのかという発想ではなく、担当課には上記を踏まえて、ぜひ抜本的な見直しを進めていただきたい。</p>

